

出会い、共に生きる

小海町

小海町の歌

秋山雄三 作曲
篠原杜子城 作詞



(S38.5.5発表)

flower

町花 サラサドウダンツツジ

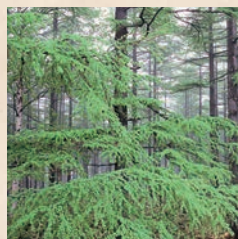
立木約4600本と国内で最大級の群落で、長野県天然記念物に指定されています。



tree

町木 カラマツ

町有林に植林された落葉松は、春は芽吹き、夏は深緑、秋には黄葉、と松原湖高原を彩ります。



character

森の妖精 プティリッツア

松原湖高原に棲んでいる妖精。温かい心を持った人間の住む土地にしか生きられないといひます。



長野県南佐久郡小海町

■発行：小海町

〒384-1192 長野県南佐久郡小海町豊里57-1
TEL: 0267-92-2525 FAX: 0267-92-4335
ホームページ: <http://www.koumi-town.jp>
E-mail: koumi@koumi-town.jp

■発行日：2019年6月



小海町民憲章 (昭和61年9月9日制定)

わたくしたちは、雄大な八ヶ岳連峰・秩父山塊と高原の湖に象徴される、豊かな自然に恵まれた小海町の住民です。

わたくしたちは、先人の英知と努力によって築かれた歴史と伝統に誇りをもち、限らない発展と明るく活力あるまちづくりをめざして、この憲章を定めます。

1. みどりあふれる恵まれた自然を守り、美しい環境のまちをつくりましょう。
1. 健康で仕事に励み、活力にみちた産業のまちをつくりましょう。
1. 思いやりをもち、あたたかい心のふれあうまちをつくりましょう。
1. 子どもを愛し、おとしりを敬い、明るい家庭を築くまちをつくりましょう。
1. 教養を高め、教育を重んじ、創造性豊かな文化のまちをつくりましょう。



町章

小海の「小」と「(片かなのウ3つで)海」を組み合わせたマークは、昭和30年代に小海・北牧・東馬流がひとつになったのを機に制定。郷土の円満な発展を表現しています。



小海町長 黒澤 弘

平成30年4月に地域の強い願いでありました中部横断自動車道佐久南ICから八千穂高原IC間が開通いたしました。南佐久地域の発展の一助になるのではないかと大きな期待をしているところでございます。

現在、国では、住民に対する行政サービスの向上や行政の効率化を図るとともに、地方が特色を持った地域づくりや地域にあった行政を展開することができるよう、国と地方の役割分担を見直し、地域の自主性・自立性を高めるため、地方分権改革の推進に取り組んでおります。これからは地域が自らの発想と創意工夫により地域の課題解決に取り組んでいかなければなりません。

いままでのように、行政主導ではなく老若男女問わず広く町民の皆様にも積極的に町政に関わっていただき、これからのまちづくりをともに考え、ともに携わっていただきたいと思います。町民の皆様が誇れる町、元気な町「こうみ」を目指すとともに、多くの皆様に小海町を知っていただき、交流人口の増加や移住定住につながるよう積極的なまちづくりを進めてまいります。

小海町の概要

長野県の東部、南佐久地域のほぼ中央に位置し、北は佐久穂町、東は北相木村、南は南相木村・南牧村、西は八ヶ岳連峰を境に茅野市にそれぞれ接しています。町の中央部を南北に流れる千曲川に沿って帯状の平坦地が形成され、ここを国道141号とJR小海線が走り、主要な交通路となっています。千曲川の左岸(西部地域)には八ヶ岳連峰のすそ野として、右岸(東部地域)は秩父山塊のすそ野として、広大で豊かな自然を擁する高原となっています。

町域 東西21km、南北16km、周囲71km
総面積 114.19km²

■位置・地勢
位置(役場)／北緯36° 05' 41" 東経138° 29' 00"
標高(役場)／海拔855m

contents

- 1 小海町の概要
- 3 四季
- 5 自然・観光
- 7 歴史
- 9 祭り・行事
- 11 教育・文化
- 13 スポーツ
- 15 保健・福祉・医療
- 17 産業
- 18 食
- 19 行政
- 21 マップ・交通

ようこそ 人と自然の まちへ





大地も人も
待ち望んでいた春
梅も桜も一気に
花開きます。

春



四季——いきものたちとの共生

夏

さわやかな夏
万物が生きている
喜びを表します。



秋

野山色づき
実りのときを
感謝する秋です。



静謐^{せいひつ}さを知る冬
大地は眠りにつき、
人や動物は遊びます。

冬

自然・観光

nature / sightseeing

小海といえば…「森と湖」
大自然が
出合いを待っている。

やわらかな山容の北八ヶ岳の麓には幻想的な大小の湖沼があり、
澄み切った空と森を映しだします。
そんな松原湖高原は、原始からの美しい自然を守りつつ、
気軽にふれあえる高原リゾート地です。

白駒の池と原生林

北八ヶ岳の広大な樹林と苔が覆う原生林の中にある神秘的な湖。日本最高所（標高2,115m）にあり、白駒の伝説が残ります。2008年「日本の貴重なコケの森」選定

ヤッホー いなご 八峰の湯/稲子湯

北八ヶ岳松原湖温泉ヤッホーの湯は小海町のシンボル八ヶ岳を一望できる場所にある日帰り温泉施設（小海町高原美術館横）。源泉掛け流しや岩盤浴のほか、食事でもあります。稲子湯は全国的にも珍しい炭酸泉の秘湯。



松原湖高原

松原湖周辺にはコテージやオートキャンプ場、バーベキューハウスなどが完備。冬になるとワカサギ釣りが楽しめます。



みどり池

湖畔に立つ「しらびそ小屋」は八ヶ岳登山の休憩スポット。湖越しに見る天狗岳の美しさは有名です。



松原湖(いなご猪名湖)

松原湖高原の中心をなす松原湖。実は猪名湖、長湖などの湖沼群を総称して松原湖といい、一般には最も大きい猪名湖を松原湖と呼んでいます。季節により水面の色が変わり神秘的です。

小海リゾートシティリエックス

八ヶ岳、浅間山、秩父連山を望み、ゴルフ、テニス、スキーなどのスポーツエリアとチャペルなどもある滞在型リゾートホテル。露天風呂（2カ所）が好評の天然温泉「星空の湯りえっくす」は日帰り利用も可能です。



語り継ぎ、 紡いでいく歴史。

小海といえは…数々の「言い伝え」

縄文時代から人が住み着いたのはなぜ？

山に囲まれているのに「小海」というのはなぜ？

重要な宝物がたくさん残されているのはなぜ——

わたしたちの町の歴史は驚くほどダイナミック。

松原の七不思議

なぜか古くから深い信仰を集め、諏方神社や、今やどこにあったかも不明の神宮寺が建てられた松原には七つの不思議も伝えられています。①一夜にして上社から下社に氷が渡り立つ「御神渡」にまつわる不思議 ②繋いでも元に戻ってしまう「浮木明神」③龍の頭から出た玉が岩になった「木笏岩」④猪名湖の水中に立つ「屏風岩」⑤皇見の松 ⑥神座遠の松 ⑦御射山のどこかに生える「もろ葉のすずき」。ほかにも小海町には謎がいっぱい。不思議を伝えてきた気持ちを大切にしたいものです。(このページの写真は、畠山重忠が竜の肝をとることを告げた市杵島姫命を祀っている弁天宮) <http://www.koumi-kankou.net/>



こじゅうるり かしら
古浄瑠璃の頭

親沢諏訪大明神に伝わる300年以上前のもの。



野ざらしの鐘 [国重要文化財]

信濃を攻略しようとした武田氏が佐久にあった梵鐘(鎌倉時代、県内最古)を戦利品として松原神社に寄進したもの。社殿が何度も火事にあつたため、屋内に置くと火災を起こすと言われています。



日本最古の石棒

平成3年に穴沢遺跡から発見された約5千年前の石の棒。古代の呪術や縄文農耕文化を探るうえで貴重なものと注目されています。



三寅剣[国宝級]

剣は仏像や梵字、星座の模様を刻んで金銀をはめ込んだ「象嵌」と呼ばれる技法で作られています。7～8世紀に制作されたもので、魔除けの剣として用いられたと推測されています。



秩父事件

明治17年、政府の富国強兵のしよせを受け困窮にあえぎ武装蜂起した秩父農民が十国峠を越え佐久へ進出。佐久の農民も立ち上がりましたが、この地で壊滅。東馬流諏訪神社に墓碑が建っています。



八陵鏡・[国重要美術品]五鈷鈴

山深い松原湖畔に、唐からの伝来物と考えられる密教用具の鈴や、鎌倉～南北朝時代の鏡を誰が伝えたのだろうか。



小海町の文化財

人が住みやすいハヶ岳山麓の気候風土と、あるときは武将(武田軍)、あるときは庶民や物資が行き来した佐久甲州往還(現・国道141号線)が貫かれた歴史が多くの文化財を今に伝えています。

名 称	指定(番号は町の指定番号)/区分	指定日
金銅梵釈四天王五鈷鈴	国/重要美術品	昭和14. 9. 6
梵鐘(野ざらしの鐘)	国/重要文化財	36. 1.13
サラサドウダンツツジ群落	県/天然記念物	41. 1.27
親沢三番叟	県/無形文化財	60. 7.29
親沢古浄瑠璃のかしら	町1/有形文化財	昭和42. 5. 1
川平鹿舞	町3/有形文化財	46.10. 1
神光寺跡	町4/有形文化財	〃
稲子清水観音堂と周辺石像群	町5/有形文化財	〃
稲子清水観音堂	町6/有形文化財	〃
松原宝篋印塔	町7/有形文化財	〃
宿渡西明寺の木造阿弥陀如来坐像	町8/有形文化財	47.10. 1
笠原東明寺の十二神将立像	町9/有形文化財	〃
寒の坊 青面金剛石像	町10/有形文化財	〃
親沢追分	町11/無形文化財	〃
本間十二社	町12/有形文化財	48. 9.26
川平妙見神社の鰐口	町13/有形文化財	〃
親沢大日堂の仏像	町14/有形文化財	48.10. 1
松源寺の木造阿弥陀三尊立像	町15/有形文化財	63. 4.25
松源寺木造釈迦坐像	町16/有形文化財	〃
松源寺開山堂の木造僧形坐像	町17/有形文化財	〃
宮上諏訪神社	町18/有形文化財	平成 2. 4.24
大久保の「栃の木」	町19/天然記念物	3. 6.26
本間川の「郷倉」	町20/有形文化財	5. 3.25
瑞花鳳凰文八稜鏡	町21/有形文化財	10. 6. 3
三寅剣	町22/有形文化財	〃
松原諏方神社 上社	町23/有形文化財	〃
松原諏方神社 下社	町24/有形文化財	〃
武田信玄関係文書	町25/古文書	〃
鷹野つぎ文章碑	町26/有形文化財	〃
子抱き地蔵	町27/有形文化財	〃
お子安さん	町28/有形文化財	〃
本村海神社	町29/有形文化財	〃
井出滝人翁の歌碑	町30/有形文化財	〃
秩父事件最後の血戦場	町31/町史跡	〃
俳句「若草百人集」版木	町32/有形文化財	〃
宮上神社宝篋印塔	町33/有形文化財	〃
伊勢型紙	町34/有形文化財	23. 8. 1
笠原旧東明寺の梵鐘	町35/有形文化財	〃
松原古城跡	町36/町史跡	23.12. 1

祭り・行事

festival / event

小海といえは…「響きあう心」 心意気を示す 四季の祭り。



祭り・伝統行事とは、祈り、願い、感謝のかたち。
古くから伝えられてきたものも
新しいイベントも小海ならではの賜物です。

松原湖灯籠流し・花火大会 ～8月16日～

灯籠流しは送り盆の宵に行われる幻想的な行事。大月湖から流された灯籠が松原湖の湖面に広がるころ、水中スターマインなどの迫力ある花火が上がり始めます。



紅葉ウォーク

紅葉の美しい松原湖畔を周遊したり別荘内をウォークし、秋の松原湖高原の自然と親しむ健康ウォークです。



ししまいさんばそう 鹿舞と三番叟 ～4月第2日曜～

300年以上昔から天下泰平・五穀豊穡を祈念して親沢・川平地区の春祭りに親沢諏訪神社で奉納されてきました。人形を使う三番叟は全国的にも稀で、殊に人形の頭に使われている「うなづきの方式」は最古の方式で現役で使われているのは親沢だけです。



かあがり ～1月7日～

各家から集めた正月飾りや書初めを燃やし、餅を焼いて食べる行事。どんど焼きを小海では「かあがり」といいます。「健康」や「字が上手になりますように」などの願いが天に昇っていきます。



ふるさと祭り・ぎおん祭 ～7月29・30日～

昔から行われていた土村・馬流のぎおん祭と小海町ふるさと祭りが集結して、毎年7月30日に祭りが行われます。前日29日には「こうみ元気・DE・ナイト」が開催されます。

フィンランドの夏祭り ～6月下旬～

気候風土が似ていることから交流が始まったフィンランドの皆さんと一緒に夏至を祝う祭り。コッコ(大きなかがり火)を囲みながらのコンサートやゲームなどで楽しめます。

TOPICS
2

御柱大祭 ～寅年と申年～

古くから行われている松原諏方神社の大祭。7年に一度開催され、多くの観光客が奇祭を一目見ようと沿道に集まります。



小海町八ヶ岳開山祭 ～6月第2土曜～

八ヶ岳の夏山シーズンの到来を告げ、安全を祈ってみどり池、白駒の池、稲子湯の3ヶ所を交代で行われます。



育んでいこう！
感動する大きな心。

小海といえば…「元気な子ども」

小海小学校

小海の小学生は四季折々に、川遊びやスケートなど自然のすばらしさを満喫すると同時に自然の厳しさに立ち向かっていく心と体を鍛えます。課外授業として農業も体験します。
小海町に長年あった北牧小学校と小海小学校が統合（平成24年4月）。

子ども・町民が夢や目標をもてる学習環境、
感動する心を養う芸術文化環境を皆でともに育んでいきましょう。



小海中学校

南・北相木村とお金を出し合って中学校組合をつくって運営している中学校で、学校の正式名は「小海町北相木村南相木村中学校組合立小海中学校」という県内一長い名前。生徒による植栽の花壇はコンクールで毎年好成績をあげています。



小海高校

1907年、農業校としてスタート。時代要請の変遷を経て、1991年には県下公立普通科高校として初のコース制を導入。常にスケートで全国に名をとどろかせると同時に地域とともに発展している高校です。

小海町音楽堂ヤルヴィホール

深い森の中、湖畔に立つ音楽堂にはスタンウェイ製のピアノがあり、プロ、アマを問わずさまざまなアーティストを迎えてコンサートを開催しています。音楽合宿にも利用できます。

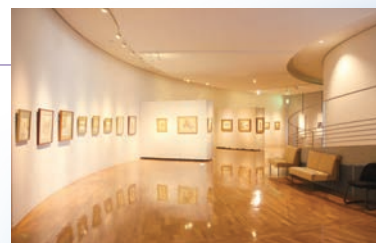


子ども探検隊

学校が休みの日（毎月1回）に町内の小学生を対象に探検隊を結成。自分たちの町の知らないところをトレッキングしたり、秘密基地（ツリーハウス）を作ったり、ロッククライミングにも挑戦します。お正月の前の餅つきは老人クラブのお年寄りが先生役。学年や年齢を超えて、困難も楽しさも含め、一つのことを成し遂げる喜びを共有します。

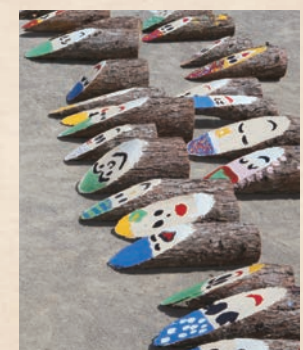
小海町高原美術館

大自然と調和するコンクリート打ち放しの洗練された建物は国際的建築家・安藤忠雄氏による設計。人間国宝・故島岡達三の陶芸、戦前のSPレコード等を所蔵し、また町民を巻き込んだユニークな企画展や興味あるイベントが開催されています。
<http://www.koumi-town.jp/museum/>



小学生が間伐材で作ったプティリッツア

間伐は山林を育て、地域環境を守る大切な作業です。NPO法人地球緑化センターの自主活動組織「小海やすらぎ隊」が間伐ボランティアを平成14年から始め、その間伐材を利用して小学生が毎年プティリッツアを作っています。



ギャラリー創

松原湖畔にあり、三寅剣や日本最古の石棒の常設展示や、町内外の絵画、木工、織物など幅広い作家の皆さんの作品を展示・販売しています。観光案内所も兼ねています。



小海といえば…「スケート」
高原の風を受けて
滑る、走る、歩く。



町からオリンピック選手を輩出しているスケート競技に限らず、
スポーツは目標に向かって心身を鍛え、
何よりも楽しいという点で健康づくりに欠かせません。

松原湖高原
スケートセンター

オリンピックを目指す選手はもちろん町民や近隣住民に愛されている天然氷のスケートセンター。標高1,250m、高地トレーニングに最適な高速リンクでトレーニンググループも完備しています。



氷上トライアスロン

平成元年以来毎年開催されている冬のトライアスロン大会。厳寒の中、スラロームスキー・雪上ランニング・長距離スケートで計29kmのスピードを競います。



スキー
スノーボード

ハケ岳・浅間山・秩父連山を望む雄大なパノラマゲレンデ。最長2.5kmのロングヒル。



ノルディックウォーキング

季節を感じつつ、無理なく健康増進を図れるウォーキング。ノルディックウォークの大会には町民はもちろん全国から多くの愛好者が参加します。

トレッキング

北ハケ岳はじめとする山々をトレッキング。自然観察インストラクターによる案内もあります。



スケート小海の歴史

小海町のスケートの始まりは明治36年(1903)北牧小学校教員伊藤久弥氏の下駄スケートからです。以後、大学選手権や全日本大会が開催され、多くのオリンピック選手も輩出してきました。



パターゴルフ

標高1300mのさわやかな高原で回るロケーションを生かしたコースはゴルフの醍醐味が味わえます。バンカーやハザードがある18ホール、ベント芝の本格派のパターゴルフ場もあります。



小海といえば…「安らぐ」心

共に支えあっていこう、 安心安全な暮らし。



少子高齢化の加速に堪える保健福祉の充実と
健康づくりを一步一步推し進めています。

マレットゴルフ

誰もが願う「年をとっても元気で
生きがいのある暮らし」。マレット
ゴルフ場には笑顔が絶えません。



小海町社会福祉センター「やすらぎ園」

福祉ネットワークの拠点としてデイサービス、ホームヘルプなど老人福祉の総合的取
組みがなされています。隣接の介護予防施設「やすらぎの家」、小規模通所介護事業
所である宅老所「なごみ」などにより町民の安心安全な老後をバックアップしています。



老人保健施設こうみ

平成11年開所した老人保健施設。介護相談や居宅介護支援など保健福祉サービス
の全般を視野において活動しています。



健康福祉まつり

毎年、健康と福祉に関するス
ローガンやテーマを決め推進し
た成果を町の各種団体や小中
学生が発表します。ふれあいバ
ザーや健康相談・測定なども同時
開催されます。



子育て支援

子どもたちは小海の宝! 子育て支援センター
では年間にわたって0歳～3歳児を対象に「は
ぐみサロン」や「子育てフェスタ」など子育
てを支援するさまざまな活動を行っています。



小海保育園

就学前の0歳～6歳の幼児の
健やかな成長を支援し、情操
を伸ばす保育をしています。



佐久総合病院小海分院

小海赤十字病院から佐久総合病院が平成15年4月に業務を引き継いで
以来、地域の健康を守っています。救急患者にも対応しています。



特別養護老人ホーム こうみの里

木のぬくもりにあふれる建物で、ジェイエー長野会が地域の介護拠点とし
て平成30年4月誕生させました。利用者さんの思いや日々の生活を大切
にした支援を行うとともに、地域の皆さまとの交流を通していつでも安
心してらせる環境づくりに努めます。



児童館

町内には小海なかよし児童館があり、学校が終わってからの時間を安全に
個性豊かに過ごせる設備が整っています。児童のための工作教室や映画
会なども開かれます。



産業

industry



内陸にある高原という地形・気候・風土に根ざした産業を推進していきます。

小海といえば…「創意工夫」
ここにある。
小海の底力が
ここから

高原野菜

小海町の清浄な空気と水、朝晩の気温差がレタス・白菜などおいしい高原野菜を育てます。

食

food & culture



小海といえば…「手作りの味」
受け継いでいくよ、
おばあちゃんの味。

食は人間形成の基本中の基本。今、日本食・郷土食が見直され、小海町でも食育活動がおこなわれています。



小海町農産物加工直売所

地元でとれた新鮮な野菜、山菜、そば、ジャム、花等々を販売。国道141号沿いにあり、地元民にも観光客にも便利です。



畜産業・千代里牧場

乳用牛、肉用牛を飼育。夏の間は緑の高原でのんびりと草をはんでいます。



菊の栽培

昼夜の温度差が大きい高原の気候は、花の色が冴え、湿度が低いことが病気になりにくく、また花持ちがよいとされ、花卉栽培に適しています。なかでも菊は昭和期に町の栽培者が品種改良した「天寿」をはじめ、盛んに作られています。



林業

広大な国有林と町有林が大きな面積を占める小海町において林業の継承は重要です。山林を育て、地域環境を守るために間伐作業が行われています。人工林のうち、約7割を占めるカラマツの利用が課題です。

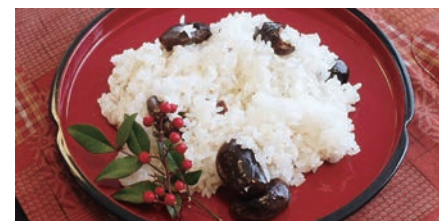
TOPICS 5 小海町の工業

工業団地(芳の窪)では、ITなど先端技術をもった誘致企業と地元中小企業が操業しています。町民の第二次産業(鉱業・建設業・製造業)の企業数・就業者数の変化をみると、日本経済と同じく高度成長期に増加しましたが、平成7年を境に減少に転じています。



山の幸、畑の幸

春はタラノメ、ヤマウド、コゴミ、ワラビなどの山菜、秋はジコボウ、クリタケ、ナラタケなどのきのこ。畑には、ハクサイ、レタスをはじめ、花豆、大豆、キュウリ、ナス、ピーマン…新鮮で安心な食べものに感謝する気持ちを忘れてはなりません。



花豆

標高の高い土地に適した花豆は粒が大きく、その味わいとともにごちそうの豆として地域に深く根付いています。煮豆はもちろん、おこわにも花豆が使われます。



そばづくり

町では、遊休農地を活用して「そばの里づくり」事業を進めています。種を無償配布、栽培し収穫した実は町が買い取り、八峰の湯や直売所で販売しています。町民や高校生によるそば打ち体験も繰り広げられています。



地域の学校で郷土食づくり

小海高等学校にはフードデザインという選択授業があります。その公開授業で小海の郷土食である「ニラせんべい」や葉もの野菜を乾燥させた保存食「かけ菜」入りの粕汁を作るということもしています。

TOPICS 6 冊子「小海の伝統食」(平成19年発行)

これからも残したい小海の伝統の味は何ですか? 食に関心ある町民たちが集まって結成された「食ネットこうみ」が長野県のコモンズ支援金助成などを得て作成したものの。伝統の食が60種掲載されています。



行政

administration



町の住みやすさとは何でしょう？ 安心安全なまち、誰かと出会ったとき笑顔を交わせること、心細かったとき口に出せ、相談にのってもらえること…。
「この町に生まれてよかった」と何遍でも言えるまちづくりをすすめていきます。



役場庁舎

佐久農業改良普及センター
小海支所、小海町商工会との
合同庁舎です。



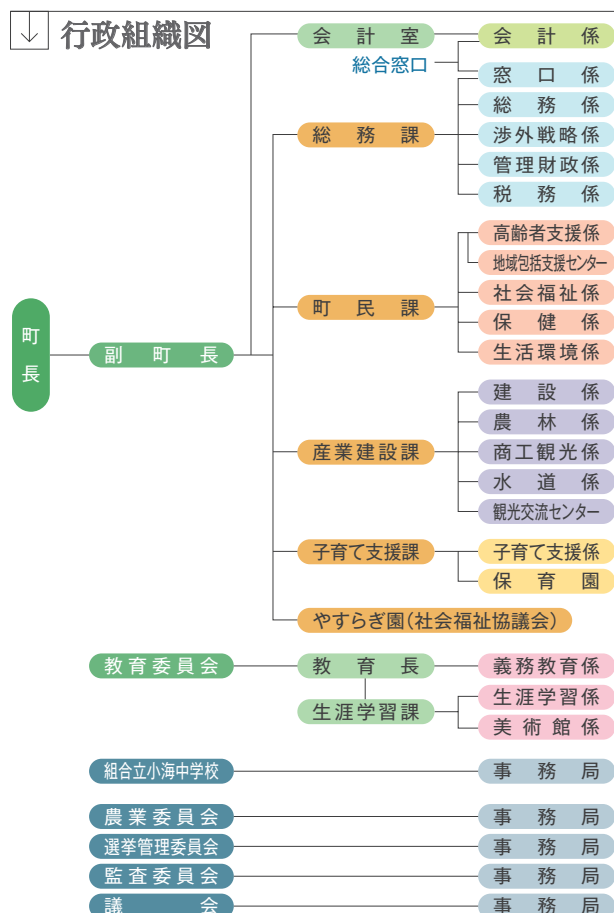
議会

町民のために総合的に考え、対応を審議しています。

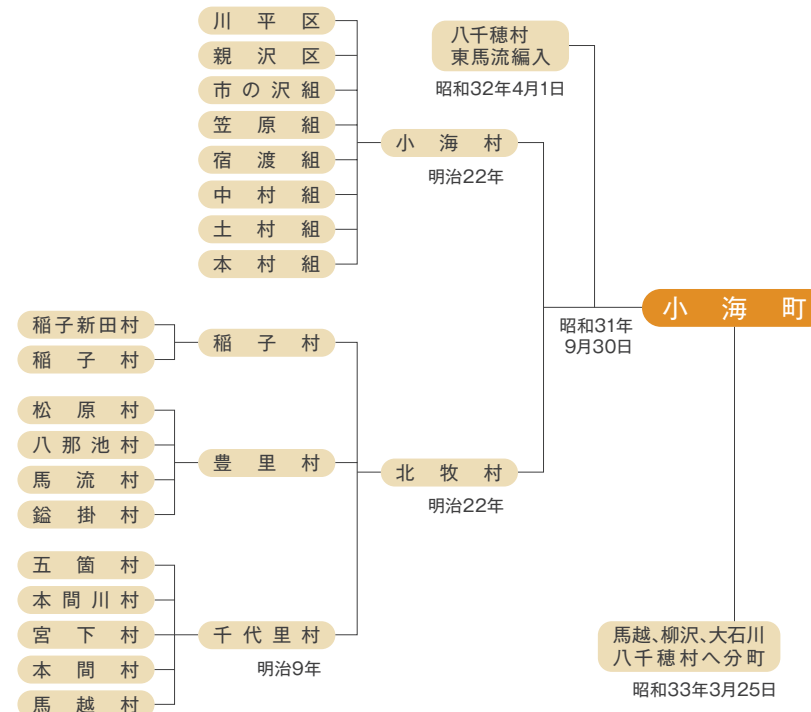
議会委員会構成図



行政組織図



明治以降の合併図



歴代町長

篠原 義次	昭和31.11. 1～昭和43.10.31
井出 利男	昭和43.11. 1～昭和47.10.31
辻 与助	昭和47.11. 1～昭和51.10.31
鷹野 文彦	昭和51.11. 1～昭和63.10.31
黒澤 榮太郎	昭和63.11. 1～平成 1.12.22
土橋 治郎	平成 2. 2. 4～平成10. 2. 3
黒澤 榮太郎	平成10. 2. 4～平成18. 2. 3
篠原 伸男	平成18. 2. 4～平成18. 2.14
小池 民夫	平成18. 3.26～平成22. 3.25
新井 寿一	平成22. 3.26～平成30. 3.25
黒澤 弘	平成30. 3.26～

モノだけにたよらない 創意工夫の生活環境づくり



ゴミ処理場

可燃ゴミ・家庭生ゴミ・不燃ゴミ等を定期的に回収。ダイオキシン対策に対応した設備。



消防訓練

地域を火災や自然災害から守る小海町消防団。日頃の訓練が地域を守る原動力です。



本間大田団地

佐久市方面への通勤の利便性を考え、八千穂高原ICから約1kmの場所に安価な宅地を造成し分譲しています。

数字でみる 小海町

Koumi data book

人口 (平成31年4月1日現在)

男性 2,295人
女性 2,381人
合計 約 4,676人

八峰の湯 入館者数

(平成19年7月オープン以降)
(平成31年4月現在)
194万5,146人

小海駅乗車 人員数

(平成28年度)
約 187人/1日

自動車 保有台数

(平成29年3月)
約 5,616台

人口千人あたりの医師数

(平成27年度)
長野県全市町村のうち5番目の
高い数値
約 2.97人/千人

図書室蔵書数

(平成31年)
北牧楽集館内
図書室蔵書数
約 42,000冊

小海町ガイドマップ



交通



町営バス

JR小海駅を発着に5路線が毎日走り、町民や観光客の足となっています。(平成8年10月より運行)



JR小海線・小海駅舎

JR小海線は通勤・通学、住民・観光客の足。時計台のある小海駅舎は乗降客が利用するだけでなく、診療所、ショッピングセンター、金融機関、福祉施設が入った複合施設です。

■小海町へのアクセス

車ご利用の場合

新宿方面(中央自動車道)より

○須玉IC→国道141号(清里・野辺山経由)→小海町

○長坂IC→清里高原道路→国道141号(野辺山経由)→小海町

練馬方面(関越自動車道→上信越自動車道→中部横断自動車道)より

○佐久小諸JCT→中部横断自動車道(八千穂高原IC)→国道141号→小海町

関西・中京方面(名神自動車道→中央自動車道)より

○長坂IC→清里高原道路→国道141号(野辺山経由)→小海町

○小淵沢IC→ハケ岳公園道路→国道141号(野辺山経由)→小海町

○諏訪IC→茅草峠(11月下旬～4月中旬通行止め)→松原湖高原線→小海町

※八千穂高原ICから約10分、その他各ICから約1時間

※ハイスピードネットワーク網として、中部横断自動車道が整備促進中です。

電車ご利用の場合

東京・上野方面より

○北陸新幹線→佐久平駅→小海線→小海駅

(約1時間20分) (約40分)

新宿より

○中央東線→小淵沢駅→小海線→小海駅

(約2時間) (約1時間10分)

名古屋より

○中央西線→塩尻駅→中央東線→小淵沢駅→

(約2時間) (約40分)

→小海線→小海駅

(約1時間10分)

イベント歳時記

4月第2日曜	鹿舞と三番叟
4月中旬	コッパ・デ・小海
4月中旬	松原諏方神社春祭・浦安の舞
6月第2土曜	小海町ハケ岳開山祭
6月下旬	フィンランドの夏祭り
6月下旬	松原湖ヘラフィッシングフェスタ
7月29・30日	ふるさと祭り・祇園祭
8月16日	松原湖灯籠流し・花火大会
8月下旬	松原諏方神社・御射山祭り
10月中旬	紅葉ノルディックウォーキング大会
10月中旬	北ハケ岳小海・星と自然のフェスタ
10月中旬	松原諏方神社十日祭・浦安の舞
2月上旬	氷上トライアスロン小海大会

GUIDE MAP

